

多くの住民でにぎわった夏まつり



館報 平柴台

発行 平柴台公民館
発行人 松本幸平
印刷所 旬丸山印刷

和やかに夏まつり

平柴台の夏まつりは8月4日午後6時から、公園で約100人が参加して和やかに行われました。例年、まつりのスタートを切る「子供みこし」は、かつぎ手が足りず、記念撮影だけとなりましたが、スイカ割りやスターボールすくい、ヨーヨー祭り、ビンゴゲームなどのほか、ビールパーティーなど盛りだくさんの催しがあり、大いににぎわいました。



そこだ、真っすぐ打ち下ろせ！

特にビンゴゲームには、大勢の子供たちが行列をつくるほど、熱気にあふれていました。ビールパーティーは、久し振りに顔を合わせた住民がにぎやかに会話を弾ませていました。最後は、花火大会で締めくくりました。



子供みこしは、かつぎ手不足で記念写真だけ



熱気あふれたビンゴゲーム

マレットゴルフ

V3逃がす

野球も善戦及ばず



V3を逃したマレットゴルフチーム

スポーツの祭典

第50回安茂里地区スポーツの祭典は5月26日に犀川第一運動場で一般野球とマレットゴルフが行われました。平柴

台からはマレットゴルフと野球チームが参加しました。このうち、4人1組で12チームで争われたマレットゴルフは、3連覇がかかった平柴台チームは、善戦及ばず3位に終わりました。一般野球は、家族

らの声援を受け、健闘しましたが、力及びませんでした。



野球チームの開会式

マレットゴルフは2人ずつに分かれて他チームの人たちとチームを組み、18ホールを回りました。全チームが回り終えた後に個人の打数を加算して少なさを競うものです。1位は差出中、2位は差出北でした。平柴台マレットゴルフクラブの滝澤利幸会長は「3連覇できなかったのは残念だったが、来年には雪辱を期したい」と話していました。

初回にいきなり4点を上げて期待されましたが、その後に小市チームの強力打線に圧倒され、4対14で3回コールド負けとなりました。会場には、赤ちゃんを抱いた若いお母さんなど、多くの家族連れが応援に駆け付けて、1投1打に熱い声援を送っていました。



サンダルがない!! 庭先に置いた履物 こつ然と消える

6月16日発の回覧により、まずと、最近、庭先などに置いたサンダルやクツなどが、こつせんと消えてしまう事例が多いことが報告されています。猫や野生動物が、くわえて持ち去って行くことが原因

因ではないか、と言われてます。最近、フサフサした尾をを持ったイタチが、庭を横切って行くのを見たことがありますが、こつした野生動物が犯人かもしれません。



満開のシダレ桜(集会所寄りの1本が枯れてしまいました。)

シダレ桜満開

1本は枯れてしまう

団地の公園のシダレ桜が、4月中旬に満開となり、道行く人々の目を楽しませてくれました。コロナ禍の影響もあり、観桜会は今年も見送られました。季節の訪れは正直で、ちゃんと咲いてくれました。団地の誕生に合わせて公園に植えられた桜は、樹齢が60年ほどとされるソメイヨシノですが、枯れる木も目立ち、何本も伐採されました。そうした中、集会所側に植えられたシダレ桜は、樹齢が長く、きつと住民を末長く楽しませてくれるものと期待されています。ところが、3本植えられたうちの1本が、6月の中旬に突然枯れてしまいました。原因は不明です。

春の一斉清掃

交流の場に

団地恒例の春の一斉清掃が5月12日(日)に行われました。



団地に住みながら、不思議と顔を合わせることもない住民にとっては、秋と合わせ、全員集合の場でもない交流の場でもあります。

春の一斉清掃は、住民の交流の場にも

自治会長や衛生部長のあいさつの後、いつものように、各組の担当の場所へ移って清掃に励みました。公園を担当する組は、お互いの健康のことなどを話しながら、雑草を抜いたり、ゴミを拾い集めています。

一人ひとりが

防災意識を

・自主防災研修会

自然災害が各地で発生しています。平柴台自主防災研修会が7月13日、集会所で開か

れ、自主防災などについて学びました。長野市は、地域ごとの避難先指定は行っていません。近くの避難場所といっても、平柴台も高齢化が進み、移動となると大変です。

平柴台は危険区域外になっていますが、災害はいつどこで発生するかわかりません。「自分の命は自分で守る」一人ひとりが防災意識を持って備えることが大切です。

杏寿会

草取り奉仕



公園に感謝して草取り

わが団地のお年寄りグループ「杏寿会」(横山悟会長)は、雪の季節を除いた毎月第2火曜日午前9時から草取り清掃を行っています。学校が終わった後、団地の子供たちだけでなく、近隣から集まって来る子供たちや、住民らが気持ち良く過ごせる空間であってほしい、との願いから続けているボランティア活動です。

毎回20人ほどが参加し、おしゃべりをしながら、せっせと草を取り除いています。6月11日も、長い棒の先についた草取り器などを使いながら、病院のことや医者通いのことなどについて情報交換をするなど会話が弾んでいました。

杏寿会の会員は現在、45世帯52人(男性21人、女性31人)となっています。

衛生部長 横山 大悟

日頃、自治会活動にご協力いただき感謝申し上げます。ところで、ここ最近、ごみの分別・処理に問題があり、収集されないことが数件ありました。石油ファンヒーターの下の

受け皿部分に灯油が残っていたりしました。皆さまにおか

次第です。

出し方が分からないごみに

ごみの出し方

ルールを守って!

れましては、再度のごみの分別・処理の徹底をお願いする

については、長野市生活環境課にご相談ください。

市の指導に沿い、収集されなかったごみは、本人に持ち帰ってもらうため、しばらくそのままにすることがあります。正しく出していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

少しでも恩返しを

自治会長 笹川 信義



このたび、平柴台自治会長をおおせつかりました2組の笹川信義です。

この平柴台を代表する立場というには、まだまだ未熟な点が多くある事は承知してお

ごあいさつ

交流を深めて

公民館長 松本 幸平



区民の皆様には、日頃から公民館活動にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。このたび令和6年度の公民館長をお引き受けした松本です。力不足ではありますが、よろしく願っています。

さて、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され4年ぶりに活動が再開され、各地区においても人の集まる行事も以前のように行われ、日常生活が戻ってまいりました。

りますが、平柴台に住んで50年余り(途中20年程空白あり)、この間多くの人と知り合うことが出来た平柴台のために、微力ながら、少しでも地域への恩返しができるほどの思いからこの大役をお引き受けしたところです。

自治会は、子供からお年寄りまで安全・安心して暮らせる地域にすることが大きな目的でもあります。

「みんなが仲良く」地域での会話、コミュニケーション

団地内公園でも子供たちの賑やかな声が聞こえています。

そんな中、公民館活動において、区民の皆様が気軽に参加を頂き地域の世代を越えた交流がますます深まりますよう役員皆で実施していきたいと考えております。

公民館の活動の目的は地域の皆さまの親睦の場づくりだと思っています。夏まつりにお越しいただいた区民の皆様有難うございました。

これから今年度後半に向けていくつかの行事を計画しております。自治会を始め育成会、諸団体の役員及び区民の皆様のご協力、ご指導を頂きながら、役員一同公民館活動を進めてまいりますので、よろしく願っています。



ラジオ体操最終日にお礼の草取り作業

子供たちの成長を願って

育成会長 山上真由美

今年度、育成会長を務めさせて頂いてきます3組の山上です。1年間よろしくお願致します。

現在平柴台育成会は小学生5名です。毎年減少しており、山王小学校在校児童自体も減少しております。少し寂しいですが一つ一つの活動を大切に内容濃く楽しくできたらしと思っています。地域の皆様にはいつも子供たちを見守っていただき感謝しております。学校から帰宅後、近隣地区の

友達と集まり平柴台公園でよく遊んでいます。私は子供たちの楽しそうな声を聞くと幸せを感じます。たまにベランダから公園を見ています。時には危ない遊びをしている事もあり「危ない事はしてはダメだよ」と伝えていますが、子供たちは夢中になると忘れてしまうようです。

とても元気な子供たちです。地域の皆様にはこれからも温かい眼差しで見守っていただき、共に子供たちの成長を感じていただければと思っています。どうぞよろしく願っています。

がとれる、このような場を設けるのも自治会の役割の一つと思っています。

自治会長を務めるにあたり

“老”を楽しみたい

杏寿会会長 横山 悟



あれほど騒いだコロナ禍。令和6年の年明けとともにぶつくり話題が絶えた。結構なことだ。ひとときは「もし、平柴台で大勢の人がコロナにか

不安な点もありますが、役員一同の強力なサポートをお願いし、今後、自治会の運営に携わってまいりたいと思いま

かったらどうしよう」と、本気で考え、悩んだこともあったはずだ。

幸いなことに、それは取り越し苦労に終わったようで、皆さん、ほっとしただろう。これからも、病気のこの様な付き合いはご免こうむりたい。

コロナ禍を吹き飛ばせ、とばかりに老人クラブのメンバーが計画したのが1月23日の「新春の集い」。久しく一堂に会することがなかった50人近

すので、これまでと変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

い会員が顔をそろえ、元気な顔を見せた時は、皆うれしそう。この集い、お酒をどうするか、事前にいろんな意見が出たが、「まだ正月中だから」の一声でOKとなった。飲めばこっちのもの。カラオケまで登場するにぎやかさ。

「あの人、石原裕次郎さんの歌がうまいんだって」の声におだてられて1曲披露したのは誰だったっけ。今年も元気で“老”を楽しみたい。